

EU Indicators

欧州経済指標コメント：7月ユーロ圏消費者物価(速報)

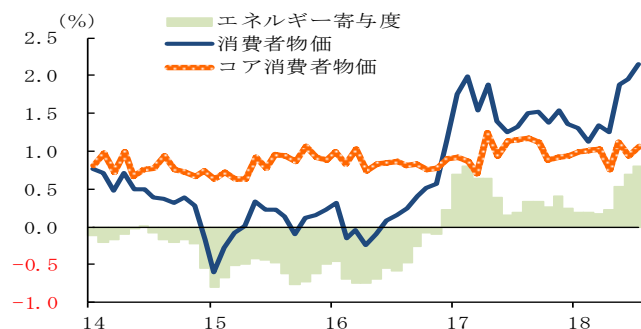
発表日：2018年7月31日(火)

～物価目標達成？～

第一生命経済研究所 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

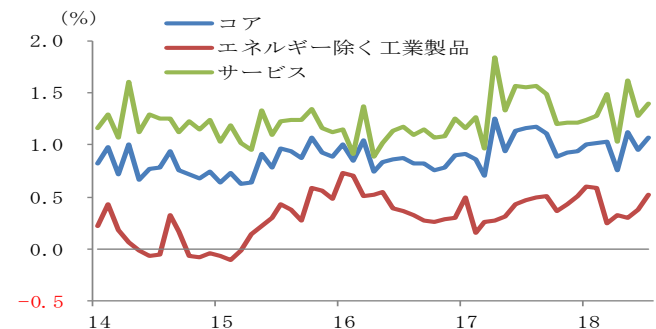
- ユーロ圏の消費者物価の7月速報値は前年比+2.1%と前月の同+2.0%からやや加速し、2ヶ月連続で2%超えを記録した(四捨五入前の6月値が同+1.96%だったため、厳密には2012年12月以来の2%超え)。速報段階で入手可能な内訳は、原油高を背景にエネルギー価格(前月：同+8.0%→今月：同+9.4%)の上昇率が一段と加速、前月に下振れしたコア物価(同+0.9%→同+1.1%)の上昇率も今年に入ってからトレンド(同+1.0%)対比で上振れした一方で、食料・アルコール飲料・たばこ価格(同+2.7%→同+2.5%)の上昇率が鈍化した。
- コア物価の細かい内訳は8月17日に発表される確報値の結果を待つ必要があるが、エネルギーを除く工業製品価格(同+0.4%→同+0.5%)、サービス価格(同+1.3%→同+1.4%)が揃って上昇率が加速した。ただ、このままコア物価の上昇率が加速していくかは予断を許さない。前月のコア物価の下振れは、パッケージ旅行など単月の振れが大きい費目が影響した。今月はドイツのコア物価が緩慢にとどまった一方で、イタリアが夏季セール開始時期の遅れで上振れしたとされる。賃金上昇率が加速傾向にあるなど、インフレ圧力がやや高まりつつあるのは事実だが、今月のコア物価の上振れも一過性の要因が多少なりとも寄与した可能性がある。コア物価の緩慢な底打ち傾向とエネルギー価格の高止まりを背景に、当面の消費者物価は同+2%前後での推移が続くことが予想される。

■ユーロ圏：消費者物価(前年比)



注：コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
 出所：Eurostat

■ユーロ圏：コア消費者物価(前年比)



注：コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
 出所：Eurostat

■ユーロ圏の消費者物価(%)

	2017				2018											
	3Q	4Q	1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		
消費者物価(前期比)	0.2	0.4	0.5	0.6	0.1	0.2	0.1	0.3	0.0	0.1	0.1	0.5	0.1	-		
消費者物価(前年比)	1.4	1.4	1.3	1.7	1.4	1.5	1.4	1.3	1.1	1.3	1.3	1.9	2.0	2.1		
コア消費者物価(前期比)	1.2	0.9	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	0.8	1.1	0.9	1.1		
コア消費者物価(前年比)	1.6	2.2	1.7	2.6	2.3	2.2	2.1	1.9	1.0	2.1	2.4	2.5	2.7	2.5		
食料/アルコール/たばこ(前期比)	1.4	2.2	1.2	2.1	2.4	2.2	1.9	1.7	0.6	1.5	1.9	2.1	2.3	-		
食料(前年比)	0.7	0.7	1.6	2.2	0.7	0.6	0.9	1.5	1.5	1.8	2.4	1.8	2.3	-		
アルコール(前年比)	3.2	3.7	4.7	6.0	3.3	3.7	4.0	4.0	3.8	6.3	6.1	6.0	6.0	-		
たばこ(前年比)	3.4	3.5	2.1	5.5	3.0	4.7	2.9	2.2	2.1	2.0	2.6	6.1	8.0	9.4		
エネルギー(前年比)																

注：消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。